

「ピュアパイル工法」普及振興会

## 施工実績広がる

一戸建て住宅の地盤を補強する「ピュアパイル工法」の普及振興会は7



日、都内で指定施工会社の経営者を招き懇談会を開いた。累計施工実績を

1万棟を目前に控え、状況報告とともに適用範囲の拡大など技術の進化を伝えた。

同工法は、基礎工事の専門企業・テノックス（港区）と日本住宅保証検査機構の関連会社・JBサポート（千代田区）が共同で開発。2010年の発売から施工実績を

広げ、14年9月までの累計実績は9107棟に上るといふ。懇談会では、施工実績の伸長や小径規格仕様の追加など取得している日本建築総合試験所の性能証明改定により、適用範囲を拡大することを説明した。

テノックスの徳永克次社長は「写真」は「引き続き皆さんに工法を使っていただけるように技術の進化、競争力の強化に努めていきたい」と語った。